

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 保 第 61 号 乙 保	氏 名	佐藤 浩子
審査委員	主 査 友竹 正人 副 査 葉久 真理 副 査 岩佐 武		

題 目

Differences in Changes in Game Usage Time and Game Use-Related Factors Depending on Parity in a Prospective Study of Pregnant Women in Japan (日本における妊婦の縦断調査による初経産別でのゲーム使用時間とゲーム使用関連要因の変化の違い)

著 者

Hiroko Sato, Toshiyuki Yasui. 2023年11月22日オンライン掲載 Healthcare

要 旨

世界的なゲーム使用の拡大とともに、過剰なゲーム使用は生活上の問題となるケースが報告されている。本研究は、妊娠中のゲーム使用の変化と日常生活行動やゲームに対する思いとの関係を初産婦・経産婦別に検討し、ゲーム使用を継続する妊婦の特徴を明らかにすることを目的とした前向き縦断研究である。基本属性、ゲーム使用状況、日常生活行動、ゲーム使用に関する思いなどについて質問紙調査を行い、妊娠初期にリクルートした645人のうち、3時期全てに回答した238人のデータを統計学的に解析している。妊娠中にゲーム使用を継続した妊婦の割合は24.8%、いずれの時期にも全くゲームを使用しなかった妊婦の割合は48.7%であった。ゲーム使用を継続する初産婦は妊娠後期にゲーム時間が増加し、妊娠中期から後期にかけて規則的な睡眠がとれていなかった。また、ゲーム使用を継続する妊婦はパートナーのゲーム使用割合が高く、自分がゲーム依存かもしれないという思いと満足にゲームができないという思いを持ち、心理的にアンビバレンスな傾向があった。妊娠中にゲーム使用を継続する初産婦については、パートナーと一緒に話し合い、ゲーム使用と日常生活のバランスを改善できるように支援することが必要と考えられた。本研究で得られた研究成果は、ゲームを使用する妊婦に対する助産師としての役割を考える上で重要な知見であり、本研究の社会的意義は大きく、博士の学位授与に値すると判断した。